

2021年5月13日

各位

会社名 株式会社バリューデザイン
 代表者名 代表取締役社長 尾上 徹
 (コード番号: 3960 東証マザーズ)
 問合せ先 執行役員経営企画部長 稲垣 智史
 (TEL. 03-5542-0088)

2021年6月期の連結業績予想の修正及び特別損失の計上に関するお知らせ

当社は、最近の業績の動向等を踏まえ、2020年8月14日に公表した2021年6月期(2020年7月1日～2021年6月30日)の通期連結業績予想を修正いたしました。また、2021年6月期第3四半期決算において特別損失(投資有価証券評価損)を計上いたしましたので、あわせて以下の通りお知らせいたします。

1. 2021年6月期の連結業績予想数値と最新予想の差異(2020年7月1日～2021年6月30日)

(単位: 百万円)

	売上高	営業利益又は 営業損失 (△)	経常利益又は 経常損失 (△)	親会社株主に帰属 する当期純利益又は 当期純損失 (△)	1株当たり当期純 利益又は1株当た り当期純損失 (△)
前回発表予想(A)	2,622	103	90	48	円 銭 31.86
今回発表予想(B)	2,165～2,196	5～31	△23～2	△87～△61	円 銭 △54.15～ △38.14
増減額(B-A)	△457～△426	△98～△72	△114～△88	△134～△109	—
増減率(%)	△17.4～ △16.2	△95.1～ △70.4	—～ △97.5	—	—
(参考) 前期通期実績 (2020年6月期)	2,477	137	122	76	円 銭 51.54

2. 修正の理由

(1) 売上高及び営業利益

2020年11月頃からの新型コロナウイルス感染症拡大、翌年1月の緊急事態宣言の再発令などの影響により、新規導入商談、及び受注済案件のサービス開始準備は長期化の傾向があり、期内の新規導入企業数は前年同期に比して減少しております。また当第3・第4四半期に納品を予定していた既存顧客への大口の追加商材の販売案件が複数件長期化したことにより、初期売上が計画通りに進捗しない可能性が高まったため、本事業年度の売上高の予想を修正し、それに伴い営業利益の予想も修正しております。

(2) 経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益

① 第11回新株予約権行使による資金調達関連費用による影響

当社は、2020年9月にマイルストーンキャピタルマネジメント株式会社を割当先とし、第三者割当により発行される第11回新株予約権を発行いたしました。新株予約権の総割当数383,300株分のうち、2020年4月2日時点で、183,300株相当の新株予約権の行使が行われており、当社は約562百万円の資金調達を行っており、関連費用約30百万円を営業外費用として予想に反映しております。なお、未行使分である200,000株相当の新株予約権に関しては、今後の方針とその影響が明らかになった時点で開示いたします。

② 中国現地法人の閉鎖関連費用による影響

当社は、東アジア、東南アジアを中心に海外での事業を展開しておりますが、近年はタイを中心とした東南アジア市場とインド市場を成長市場として位置付けております。今後、これら成長市場へのリソースの再配分を行うべく、2021年4月に中国における連結子会社である佰饒(上海)信息技術有限公司の閉鎖を決定しており、その関連費用として約15百万円を特別損失として予想に反映しております。

3. 特別損失の計上について

当社が保有する投資有価証券について、取得価額に比べて実質価額が著しく下落したため、2021年6月期第3四半期決算にて、投資有価証券評価損として30百万円を特別損失に計上いたしました。

以 上